

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

更新

事業者名: 株式会社 ユニバーサリー

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内では共有、実践している。	●		弊社の経営理念は、「仕事を通して社会に貢献し、豊かな未来を創造する。」であり、経営目標は、売上高対前年度比10%超、利益率5%超としている。これらの理念を実践しながら、目標に向け取り組んでいる。										8	9								17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		全ての事業活動において、当然のことではあるが、日頃から違法行為や押売行為は絶対に行っていない。法令順守の下で事業活動を行っており、今後も引き続き同様に法令順守の下で事業活動を行っていく。																			16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		不正競争行為等を一切行わない方針を掲げ、事業に取り組んでいる。																10				16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		社会に迷惑を掛けないこと、環境に負荷を与えないことを意識して企業活動を行っており、社長がその担当者・責任者を担っている。																				16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産権の重要性については十分認識しており、弊社ロゴである「Universally」は、商標登録している。商標登録と意匠登録に関しては、弁理士に依頼せず、社長自ら申請～登録料納付まで手続きをしている。										8.2 8.3	9									16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		お客様等の個人情報に関しては、パソコン本体ではなく、SSDに保存し、常に身近なところに置き、誰でも容易に閲覧できないようしっかりと管理している。																				16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		ステークホルダーに、自家消費型再生可能エネルギーは企業にとって非常に重要になること等について、説明・提案を続けている。																			16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●								5					8		10			12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●																9			11			13.1	16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●													8	9									17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5					8						12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		弊社社内において、性別・年齢・障がい・国籍・出自などによる差別やハラスメント等の人権侵害が無いよう日頃より注意し確認を行っている。新聞・ニュースからの情報等も確認しながら注意喚起を行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		日頃より机の回りや車の中の整理・整頓をキッチンと行い、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。また、車の運転は、遠方や雨の日等十分に注意をしながら安全運転を心掛けるように周知徹底を図っている。			3							8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		社員を雇用をした場合には、性別・年齢・雇用形態に関わらず同一労働・同一賃金が実施できるように体制を整えている。						5.5					8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		完全週休二日制で年間休日120日を確保している。仕事は早く処理し、早く帰宅するをモットーにしており、一日24時間を3つに分けて、8h仕事に没頭し、8hグッスリ寝て、8h家庭を大切に、を推奨している。			3			5.5					8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		熊本県、熊本市、商工会議所、熊本県工業連合会、日本政策金融公庫、倫理法人会などが開催している各種セミナーには積極的に参加して、能力開発や教育訓練を行っている。				4	5.5						8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		健康診断は毎年定期的に受信し、健康管理を行っている。また、体調が優れない時には、無理して行動しないよう心掛けており、交通事故や万が一のけが等の無いように気を付けて行動している。			3								8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		女性、外国人、障害者、高齢者等の多様な人材が活躍できるよう配慮して事業に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5						8.5		10.2 10.3							16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議を導入している。	●						3							8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●													8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4						8	9			12							

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物に関しては、全てを集めて、生ごみ、紙ごみ、プラゴミ、段ボール、金属類等に分別を行っている。廃棄物の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電力・ガソリンは毎月の電気料金明細書、ご利用代金明細書を元にデータをまとめて、月ごとの使用量・コストなどの確認を行い、電力・ガソリンの削減に取り組んでいる。具体的には、電気使用量の推移、車両ごとの燃費を確認している。							7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		23【エネルギー】にて確認された電力・ガソリンの使用量から二酸化炭素の排出量を算出・把握し、その数値を意識しながら排出の削減に取り組んでいる。毎月の使用料を確認し、CO2排出の確認をしている。		2.4					7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		自社活動の中で、二酸化炭素の排出を抑えていく、ゴミの分別を行う、無駄な物を買わず今ある物を活用する、等を徹底して行っている。今後もこれらについて更に意識を高めながら自社の活動を行っている。						6.6							14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		出来る限りペーパーレスで業務を行っている。印刷した裏が真白な紙は、廃棄せず裏紙としてリユースして活用している。両面とも印刷し不要となった紙ゴミは分別してまとめてリサイクルに取り組んでいる。									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		洗面所には自動水栓、トイレには節水型便器を設置して水の使用量を削減しており、出来る限り無駄にならないよう心掛けている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		丸紅グループの発電所でつくられた再生可能エネルギー由来の電力の販売がされており、弊社はその代理販売を行っている。丸紅新電力から提供される環境配慮型プランを購入することで、CO2削減を実現できる。									9.4		12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4					12.3		14	15			17	
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		屋根に設置した太陽光発電設備による自家消費型再生可能エネルギーを活用し、電力の削減とピークカットを行っている。また、給湯設備もエネルギー変換効率の高いヒートポンプ方式を採用している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			日頃からコンビニ袋を使わずにマイバックを使っている。水分補給にはペットボトル飲料を買わずにマイボトルを使う。少しでもプラスチックゴミが出ないように、環境汚染への影響がないように意識して行動している。											12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		J-クレジット制度は、経済産業省・環境省・農林水産省が連携して創った制度である。また、再エネ由来の電力は、丸紅グループの丸紅新電力のサービスであり、弊社サービスの安全性と品質は確保されている。			3.9					9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		J-クレジット制度も再エネ由来の電力も誰もが利用しやすいサービスの提供で条件等は、全く設けていない。二つのサービスについてこれからも多くの県内事業者へ提案を続けていく。								9.1	10	11.7									17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	地元の農産物を積極的に購入している。これからは地産地消を推進していく。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	地球温暖化待たなしと考えており、そのために、J-クレジットの普及拡大に頑張っている。また、再エネ設備やRE Actionで社会課題の解決に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		江津湖周辺の清掃活動に参加し、社会貢献活動に積極的に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		ハザードマップにて弊社の場所を確認し、災害時の危険性について把握している。				4							11.5		13.1				16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	J-クレジット制度のプロジェクト実施者として、SDGsの普及啓発(プレゼンテーション)を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4					8.6		10.2								17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6										17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15			17